

茨中・茨高の先生方のように、子どもに親身に寄り添い、支えられる教員になりたい

A・I

東京学芸大学 教育学部 C類 特別支援教育教員養成課程 進学

水戸市立 緑岡小学校 卒業

生徒に親身に寄り添ってくださる先生が多く、どんなに忙しくても質問や相談に丁寧に答えてくださいます。質問に行くと、優しくわかるまでとことん付き合ってくださいるので、わからないときは安心して素直にわからないと言える、苦手強化の克服もしやすい環境だと思います。

6年間の思い出については、吹奏楽部で過ごした時間が一番心に残っています。中学生と高校生と一緒に活動するので、頼れる先輩に憧れ、演奏・礼儀・時には勉強のことも教わりながら練習に励む一方、頑張っている後輩の姿に勇気づけられ、自分も頑張ろうと思える部活動でした。先輩・後輩の仲がとてよく、顧問の先生方は優しく、時に厳しく私たちに指導して下さり、生徒自ら考えて行動した時にはあたたかく見守り、応援して下さったので、思い切り吹奏楽を楽しむことができました。部員の数が多いので、時には意見がぶつかったり、すれ違ったりすることもありましたが、それをともに乗り越え、支えあったことで、かけがえのない大切な仲間との時間を過ごすことができました。受験生になって引退してからも、後輩が廊下で「先輩！」と声をかけてくれるだけで心が温かくなり、不安になっている自分を奮い立たせることができました。また、吹奏楽部は勉強との両立が大変だと言う人もいますが、私はむしろ、部活動を通してスケジュール管理の習慣や時間を上手に使うコツを身に付けることができましたし、自分のモチベーションをコントロールする術を磨くことができたので、勉強に役立ったと思っています。

茨中・茨高の良いところは、勉強もそれ以外のことも、生徒自身が頑張ろうとすれば全力で応援してくれるところです。勉強面では、わからないことがあったらいつでも先生が対応して下さいますし、勉強法に悩んだときも相談に乗ってくださいます。部活動や習い事、また体育祭や文化祭では生徒の自主性やアイデアを尊重して応援して下さるので、充実した中学・高校生活を送りやすいと思います。

私は教育学部に進み、将来は教員になることを目指しています。茨中・茨高の先生方のように子どもに親身に寄り添い、支えられる教員になりたいので、大学ではそのための知識と技量をしっかり身に付けていきます。